

私たちは
家族を支援します

岩本町 ほほえみプラザ

- 千代田区立 岩本町高齢者在宅サービスセンター
- 千代田区立 ケアハウスいわもと
- 千代田区立 グループホームいわもと
- 区民施設 多目的ホール、今川記念室



さまざまな「暮らし」を サポートします

岩本町ほほえみプラザはデイサービス・ショートステイ・ケアハウス・グループホームの4つの事業で構成される高齢者複合施設と、地域の方の活動の場となっている区民施設とが一体化した施設です。日常生活に不安を感じ始めた方から介護の必要な方まで、おひとりおひとりに合わせた幅広いサービスを用意し、地域の方々、多くのボランティアのみなさんに支えられ事業を展開しています。



岩本町ほほえみプラザ
は千代田区が今川小学校
跡地に建設した、高齢者

複合施設と区民施設とが一体化した施設です。

高齢者複合施設は、介護を必要とされる方が
“通い”や“滞在”など、幅広くおひとりおひとりに
合わせてそれぞれの事業をご利用いただけます。

多摩同胞会と 岩本町ほほえみプラザの歩み

- 1946 (昭和21) 年度 終戦直後、路頭に迷う母子の救済のため、西多摩郡五日市町（現あきる野市）に綱代母子寮を開設。
- 1953 (昭和28) 年度 綱代母子寮の姉妹寮として、白鳥寮を府中市に開設。
- 1960 (昭和35) 年度 白鳥寮の一棟を保護施設（養老施設）として信愛寮認可。定員27名。
- 1963 (昭和38) 年度 老人福祉法制定により養護老人ホーム信愛寮となる。定員142名。
- 1975 (昭和50) 年度 信愛泉苑開設。
- 1993 (平成5) 年度 府中市より府中市立あさひ苑運営受託。
- 1994 (平成6) 年度 信愛寮、緑町に移転。信愛緑苑開設。
- 2002 (平成14) 年度 千代田区より岩本町2丁目複合施設、「岩本町ほほえみプラザ」の運営受託。
- 2003 (平成15) 年度 法人・千代田区初の事業であるグループホーム（定員9名）、ケアハウス（定員20名）事業開始。
通所介護（一般30名、認知症10名）短期入所（定員20名）、区民施設事業開始。
- 2005 (平成17) 年度 健康回復支援ショートステイ（千代田区補助事業）事業開始。
- 2006 (平成18) 年度 千代田区から指定管理者として指定される（平成18～20年度）。
介護予防・地域支援事業開始。
地域密着型サービス開始。認知症通所介護定員を12名に変更。
法人創立60周年。シンポジウム「神田の福祉」開催。
- 2009 (平成21) 年度 千代田区から第2期指定管理者として指定される（平成21～30年度）。
- 2010 (平成22) 年度 訪問食事サービス事業開始。
- 2019 (平成31) 年度 千代田区から第3期指定管理者として指定される（平成31～令和10年度）
- 2023 (令和5) 年度 訪問食事サービス休止
- 2024 (令和6) 年度 昼食会 再開

区民施設は、多目的ホールと今川記念室から
なっており、地域の皆様の活動の場として広く
利用されています。

かつて小学校に通われていた方々が、またこの
場所で新たな出会いを体験する。そのような
素晴らしい未来を期待しつつ、地域の皆様に支
えられて、この施設が「安心の拠りどころ」とな
るよう励んでまいります。

最も困っている人々のいのちと生活を支えます

在宅サービス

昼食会（地域公益活動）

健康的な食事を通して、介護予防を促進し、高齢期に必要な栄養等の知識をお伝えします。

介護予防事業

千代田区在住の65歳以上の方が自由に参加できる、介護予防のための教室を実施しています。



デイサービス

（介護予防）通所介護・（介護予防）認知症対応型通所介護

高齢者在宅サービスセンターに通っていたき、趣味・娯楽活動・機能訓練や食事・入浴などの日常生活上の支援を提供します。



安心できる設備が 整った建物です。

4つの高齢者事業と区民施設。
岩本町ほえみプラザは各階
ごとにいろんな顔があります。

1F 交流の場



正面玄関 大きなたぬきが皆様をお出
迎えします。

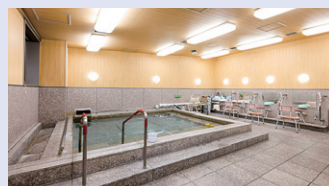


多目的ホール 地域の皆様の活動の
場、介護予防事業・会議や研修の場と
して多目的に利用されています。

2F 活動の場



デイ活動室 デイサービスを利用され
る皆様の活動の場です。ひろびろとした
開放感のあるたたずまいです。



桜の湯（介助浴室） ひろびろとした浴
室はまるで温泉旅館のようです。

滞在サービス

ショートステイ (介護予防) 短期入所生活介護

一時的に家庭での介護が受けられないときに、短期間施設に滞在していただき、介護や食事・入浴などの日常生活上の支援を提供します。

健康回復支援ショート

千代田区在住の65歳以上の方で、介護保険の認定を受けていないひとり暮らし高齢者などの方に、短期間滞在いただき、健康管理や日常生活上の支援を提供します。



入所サービス

グループホーム (介護予防) 認知症対応型共同生活介護

認知症の高齢者の方で、共同生活ができる方に入居いただき、家庭的な環境で少人数で生活します。

日常生活を通し認知症状の進行緩和、機能維持を目差し、おひとりおひとりに寄り添い、有する能力に応じた自立した日常生活を営めるよう支援します。

ケアハウス

60歳以上で、家庭環境や住宅事情などによりご自宅での生活が困難な方に入居いただくバリアフリーの生活の場です。食事・入浴の提供や生活の相談援助などを通して、住み慣れたまちでの自由で安心できる暮らしを支援します。

3F
くつろぎの場



ショートステイ居室 個室や多床室、その人にあった滞在方法を選べます。

4F
生活の場



グループホームリビングルーム 太陽がさんさんとあたる広々としたリビングは、ついうたた寝をしてしまうほどの居心地の良さです。

6F
生活の場



ケアハウス食堂 居心地のよい食堂は食事の場面だけでなく、集いの場としても使われています。

3F
賄いの場



厨房 ほほえみプラザで提供される食事のすべてをこの厨房で賄っています。

7F
生活の場



ケアハウス共用スペース ケアハウス居室前の共用スペースが談話スペースになることも。「今日のお昼ご飯美味しかった!」



岩本町ほほえみプラザご利用者の声

ひとりひとりをちゃんと把握してくれている

Aさんはお母さんがグループホームに入居されています。

「スタッフの方々の温かい心遣いの中、不安もなく本人は大変喜んでお世話になっています。細やかな配慮には家族としていつも感謝しています」とAさん。岩本町ほほえみプラザにお母さんが入居されるまでは、お母さんの介護で、姉妹共に精神的にも肉体的にもかなり疲れていたそうです。「一般的に持っていたイメージとは全く違い、職員は親切で開放感があり、人格の尊重が徹底されているグループホームいわもとには介護の理想を感じています」とのAさんのお言葉には恐縮しています。



Bさんはデイサービスに通われています。

「脳梗塞を患って、ケアマネジャーさんにデイサービスを勧められて通うようになったんだ。

“誰かが立ち上がると職員さんが駆けつけてくれる”って話を聞いて、あるときに試してみたんだ。でも誰も駆けつけてくれなかった。僕が自分で歩けるのをちゃんと分かっているんだよ」と笑いながら話すBさん。「丁寧な声かけて、認知症の方も穏やかになったりする。ひとりひとりの状態を職員がちゃんと把握しているんだね。

家族はデイサービスの車に乗せたら安心していいよ。大船に乗ったつもりで。半信半疑でいた私が言うのだからね」と笑顔です。

地域と共に歩み続ける

岩本町ほほえみプラザでは、定期的にボランティアの子どもたちが来て、バイオリンの演奏を披露してくれています。

「音楽を聴いていると、いつにも増して穏やかな表情になるので」と話すのは介護員のTさん。子どもたちも初めのうちは緊張していますが、すぐに慣れて、素敵な音色を聞かせてくれます。「定期的に来てくれることで演奏もそうだけど子どもたちの成長も感じる事が出来て利用者の皆さんと共によろこびを感じる事が出来て、異世代交流の大切さを感じます」とTさんは話します。



子どもだけではありません。千代田区内や近隣の企業に勤務する人もボランティアに来られます。

「イベントのお手伝いを中心ですが、休みの日を使ったり、仕事に支障のないようにやりくりしたりしていますよ」と話すのは、ボランティアのGさん。その他にも近所にお住いの方が、正面玄関の装飾を手伝ってくれたり、町会のイベントにグループホームやケアハウスの皆さんで参加したりと、地域の方に支えられながら、これからも岩本町ほほえみプラザは地域と共に歩み続けます。



法人の基本指針

私たち職員は、法人創設者中城イマ元理事長の4つの信念を基本的な指針とします。

1 利用者に深い共感をもつ

- いたみを分かちあう共感
- 相手の立場に立つ共感

2 地域の方々に感謝する

- 他者への感謝
- 我以外みな我が師
- 内部にあっては職員相互あるいはご利用者への「ありがとう」の気持ち

3 水、電気などの資源を大切に

- 自然を大切に
- 環境を汚さない
- 自然の恵み、資源を未来につなげる

4 常に防災を心がけ火を出さない

- 安心安全を常に心がける
- 安全を脅かさない

